支部だより・ふれあいの広場

鶴舞

私のマラソン人生

丸谷 康男

私がランニングを始めたのは、昭和54年、32歳の時です。この時の私の体重は75kgでした。当時は名古屋市内の病院勤務で、昼の休憩時間が3時間あり、練習時間は十分ありました。メンバーは理学療法の仲間で、私を入れ5名で始めました。しかし半年間のうちに全員が辞めてしまい、私一人で練習する事になりました。

走り始めてから1年後で体重が60kgまで落ちました。ためしに10kmのジョギングを近くのグランドで走ってみると何と完走できました。そして2年目の昭和55年に新しい病院に勤務となりました。この病院は名古屋市内の病院に比べて郊外にある為、走るコースは沢山あり助かりました。度胸試しのつもりで、昭和63年1月に行われた日進町マラソン大会に出場しました。5km壮年の部で、何と2位になりました。

昭和63年に日進市にある病院を退職し、現在の場所（名古屋市天白区）で接骨院を4月より開設しました。ランニングの練習は主に天白川のサイクリングコースで早朝練習していました。

ある朝、ここで走っている集団と出会い、リーダーの人に「私の倶楽部に入会しないか」と誘いを受けました。これが現在私が所属している天白川走友会です。この倶楽部は会長、コーチ、会計等スタッフがしっかりしていて、会長は任期が2年で交代となっています。会員数は70名程で年齢20－80歳と幅広く、女性もいます。私はこの倶楽部に入会してから刺激を受け、月間走行距離も200kmから400kmに伸びました。

私が今までに参加した主なマラソン大会及び記録を述べてみます。平成元年、「いびがわフルマラソン」に初めて挑戦しました。結果は、前半飛ばし過ぎて折り返しの後半は気持ちが悪くなり数回歩きました。タイムは3時間9分10秒でした。この経験を生かして平成3年の大会では2時間59分24秒で32位、翌年平成4年は2時間59分30秒で33位でした。フルマラソンの自己ベストは、平成8年の「中日豊橋マラソン大会」で2時間54分23秒です。この大会は陸連公認コースで、陸連に登録していなければ出場できません。この大会はレベルが高くて、ゴールが3時間までとなっています。私はこの時49歳でした。この大会は5回参加して4回完走しました。

この大会以外に参加したマラソン大会は次の通りです。

犬山ハーフマラソン、名古屋シティマラソン、長野マラソン、駒ケ根マラソン、いびがわハーフマラソン、富士登山競争、ひだ金山清流マラソン、西濃駅伝などです。

現在の私ですが、年齢とともに体力が落ち毎週日曜日の行われる倶楽部に参加しているだけです。

今世界中は新型コロナウイルスの感染で大変な状態ですが、会員の皆様も体力維持のために、ジョギングかウォーキングをやりませんか。そしてこの苦境を乗り切りましょう。

笠寺

令和３年　笠寺支部総会

支部総務担当
菅沼 智仁

令和3年4月11日（日）、愛整会館にて午後1時より笠寺支部の総会が開催された。

本年は支部長及び協同組合理事の選挙が行われ、新支部長に山口 敬史会員、協同組合理事には矢野 康治会員がそれぞれ選任された。

総会では令和2年度の事業及び決算の報告、令和3年度の事業計画の報告があった。各活動の自粛により支出は減少したものの、昨年度、本年度の年会費を減額したことにより収支は厳しい状況となっていることがわかった。続いて新支部長就任に伴い各部会の担当者が選任された。留任、兼任が多く、もっと若い会員が積極的に支部の運営に参加できるようにしていくべきだと感じた。

昨年の総会と同様、未だにコロナウイルス感染症の影響があるため、多くの会員が総会を欠席し委任状を提出したことにより、少数での開催になることへの対応として、リモートでの参加が可能になるよう、オンラインでの会議ができるビデオチャットサービスを利用した。残念ながらビデオチャットサービスで参加する会員は少なかったが、今後通常どおりに総会や研修会を開催する際も、ビデオチャットサービスを活用することで、会場に来ることができなくても会の状況が把握でき、式次第、資料や研修会等のファイルの共有が容易にできることが、今回の総会の準備過程で把握ができた。まだまだ続くコロナ禍での開催方法のひとつとして有効活用することが必要だと痛感した。

今より多くの会員にデジタル化に賛同してもらい、従来であれば郵便やファックスなどを使用した連絡事項や資料の配布などをパソコンやスマートフォンに送信できれば、経費の削減もでき、今まで以上に支部運営に参加し易くなるのではないかと、今回の総会の準備をしていて感じた。

コロナ禍のプロスポーツの現場より
バスケットボールＢリーグ

支部広報担当
平岩 丈彦

私がプロバスケットボールのチームに関わって4シーズン目が終了した。B2リーグ所属の豊通ファイティングイーグルス名古屋（以下ＦＥ名古屋）というチームで、柔道整復師のトレーナーとして公式にエントリーした。年間60試合以上を戦い、約9カ月に及ぶリーグ戦。プロ野球で言うキャンプ、オープン戦に当る期間も含めると約11カ月の活動だ。

就任して最初の2シーズンは通常どおり行われたが、3シーズン目の去年2月、後にいわゆる「コロナ禍」と言う世界的に大変な世の中が始まった。リーグ戦は40数試合を経過したところで打ち切り、最後の試合は無観客。順位もその時点での成績で確定、プレーオフや入れ替え戦等も無く、シーズン終了後のイベントもことごとく中止となり、突然のシーズン終了に関係者は皆とても困惑した。

その後迎えた今シーズン、国の指針の下、「入場者数の制限」、「観客の座席の記録と移動禁止」、「選手とファンの接触禁止」、

「応援は拍手のみ」、「場内飲食制限」等々のルールを設け、選手、スタッフは毎日6項目の体調、2回の検温、体重、疲労度、睡眠時間、15分以上滞在した場所とその日会った人等をアプリで報告、そして2週間に1度のPCR検査、かく言う私もシーズン中は20回の検査を受けた。そしてシーズン通してほとんどのチームから陽性者が出る中、2試合はコロナにより中止となるも我がＦＥ名古屋は1人の陽性者を出すことなくB2西地区2位で終えることができた。

本刊が発刊される頃にはオリンピック開催はどうなっているか？コロナ禍で興業を行った数々のプロスポーツ、このノウハウも生かされ開催に漕ぎ着けることができたのか？

ひと仕事終えて思う事は、以前のように本当にスポーツが楽しめる世の中が来ることを願うばかりである。

大曽根

熱田神宮散策

支部介護担当
平岩 治郎

熱田神宮の本宮を囲むように小径があるのをご存知でしょうか。ご存知の先生方は多いとは思いますが、今回、散策して参りましたのでご紹介させていただきます。

この『こころの小径（こみち）』は、以前は立ち入ることができませんでしたが、10年程前から参拝できるようになりました。ただ、今でも小径に入れるのは9：00～16：00です。

本宮の右手の神楽殿の右側入り口から入りました。入って右側にある大きな楠（くすのき）はパワースポットとして人気があります。この楠の巨木は境内で2番目に大きいそうです。また、境内の楠の中で唯一触れることが出来る楠です。私は柵の間から手を伸ばして太い根にさわってパワーを頂きました。

その先にある『清水社（しみずしゃ）』の御祭神は水をつかさどる神様である罔象女神（みずはのめのかみ）をお祀りしております。社殿の北側に湧水が湧いており、俗に『お清水（しみず）さま』と呼ばれ、その水で眼を洗えば眼がよくなり、肌を洗えば肌がきれいになるという信仰があります。私は顔に清水をつけさせていただきました。また、水の湧いている場所の中央にある石が、楊貴妃の石塔の一部との説があります。両脇に置いてある柄杓を使って石に3回水をかけると願い事が叶うと言われているそうです。

そののち、熱田神宮で最も神聖な場所とも言われる『一之御前神社』を参拝させていただきました。近くに警衛詰所もあり、熱田神宮における最も神聖な場所のため、写真撮影は禁止されています。熱田神宮の中でも一段と神聖な空気に包まれていました。

愛整会館からとても近く、無料の駐車場もありますので、申請書を会館に持参されたときにでも、お立ち寄りになられることをお勧めします。熱田神宮で沢山のパワーを充電して、明日からの施術に役立ててください。

40年

玉置 一博

名古屋市北区で開業して40年が経ちました。開業して間もなく１通の手紙が届きました。内容は「あなたの悪事をマスコミ等に公表する…」と言うような手紙でした。それから２～３日後には他の先生にも同じ手紙が届き大きな問題となりました。

あれから40年、いろいろなことがありました。困った時は、いつも近所の先輩の先生が助けてくれました。

私が開業した頃は、ほとんどの先生が米田柔整専門学校卒業の先生で、大阪の柔整学校卒業の私は全く知らない先生ばかりでしたが、いつもやさしく指導して下さいました。ほんとうに助けてもらってばかりで、自分が役に立った記憶があまり有りません。後輩の先生方にも先輩として役に立った事がないような気がします。その割には「態度がでかい」様な気がします。それでも先輩の先生方も後輩の先生方も、いつもやさしく接してくれます。それに甘えてここまでやってこられました。大変すばらしい所で開業できたと思っております。

目標にしてきた先生が、まだまだ元気で頑張っておられますので、自分も頑張りたいと思っています。

先輩の先生方、後輩の先生方、もう少しの間よろしくお願い致します。

中村

当院のコロナ禍で生じた問題点

支部広報担当
半谷 和男

新型コロナウイルス感染症が発生して以来、会員の皆様も知恵を絞り様々なコロナ対策を行ってきたと思います。そこでコロナ禍で生じた当院の問題点を3つ報告いたします。

1.「患者が密になる」コロナ発生以前から患者を「待たせるのが嫌」で予約（10分刻み）により来院時間の分散を行ってきました。完全な予約性ではなく予約優先性であったため、天候などによって一斉に来院されたり、また時間よりかなり早く来られたりと待合室が「密」にならないように配慮することが大変です。

2.「梅雨の湿気」当院では密閉空間にならないように窓を開け換気扇を回して常時換気を行なっています。そのため、梅雨の時期ではエアコンの除湿を使用しても湿度は70～80％になってしまい院内は「ジメジメ」の状態になります。「綿の白衣」は湿気で体にまとわりつき動きにくく施術に支障をきたし「伸縮性のある白衣」に変更しました。また、低濃度オゾン発生器での「ウイルスの不活化」という方法（密閉空間・一定のオゾン濃度が必要）もありますが、私は窓を開け換気をし

たいので悩んでいます。

3.「午後の従業員募集」昨年３月に出産のため、午後の従業員が退職しました。募集を行いましたがコロナ禍で応募はなく、それ以降午後は一人で受付から施術まで全て行なっています。来院患者数は、昨年3、4、5月はコロナ以前より4、5割減。また今年は1、2割減ではあるが、午後は日による来院数の変動が激しく「採用しても仕事がないでは申し訳ない」と思ってしまい再募集になかなか踏み切れません。

コロナ禍では、以前普通と思われていたことの継続が大変難しくなっています。それでも「イギリス、ワクチン接種で感染が激減」との報道もあります。日本でもワクチン接種が始まりました。まだまだコロナ禍で問題は出てきますが一つずつ考え改善し、患者様に喜んでいただけるよう最善をつくしコロナ禍を乗り超えたいと思います。

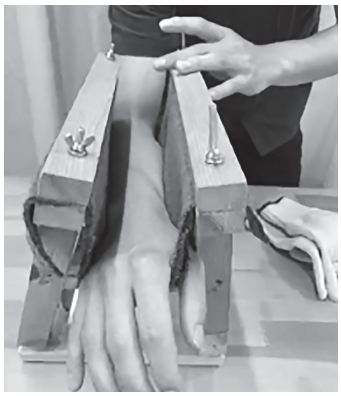
熱田

令和３年度支部学術研修会

支部広報担当
山守 貴英

『2020年11月末現在、COVID-19の感染拡大の勢いはとどまる所を知りません……』という見出しで前号に学術部活動報告を寄稿した。あれから半年が過ぎた6月末現在、東京オリンピック・パラリンピック開催まで残り1か月を切ったが、ワクチン接種も優先医療従事者から始まり高齢者へと順次実施され、6月上旬には愛整会と愛知県知事との交渉の結果、64歳以下の会員柔道整復師と接骨院スタッフも医療従事者に準ずるとしてワクチン優先接種の対象となるなど明るいニュースも聞かれる様になった。

さて、昨年度の支部学術研修会はといえば、



COVID-19流行真っ只中ということもあり急遽論文配信という形で代替開催としたが、令和3年度研修会ではZoomを活用したWeb会議形式としてみてはどうかという意見が早々から出され準備を進めてきた。支部学術担当を中心に、演題数は2～3題、実演も取り入れたい等煮詰めていった。具体的な方法としては運営側の密を避けるため、メインスタジオにはプレゼン発表者、固定装具作製実演者と補助者、カメラ撮影者、音声管理者、各スタジオとの連絡係などを最少人数配備し、各会員のサブスタジオでは参加者の管理・運営全体を総括する者、司会者、参加者からの質問を受け付ける者等役割を決めた。各スタジオとの連携は予め登録しておいたグループLINEを用い、手の空いた者全員で随時トラブルを監視し連絡を取り合うこととした。しかしながら、幾度かのリハーサルを行う中での問題点も多く、事前に作成したプレゼン動画の解像度の問題、音声関係では機器同士によるハウリングやミュート解除忘れ。また各コンテンツ間の中継の不手際などが課題となり、司会原稿の修正やスタジオ間の受け渡し確認、実演の段取り等最終の打ち合わせは当日の開始直前ギリギリまで行われた。

本番の演目は3題。1題目は『自作足底板による母趾外転筋と小趾外転筋への影響』と題し山岸会員より発表。日頃用いているベルトで巻きつけるタイプの足底板が母趾外転筋と小趾外転筋に何らかの作用をしているのではないかという仮説のもと、足底板装着と非装着における荷重時の筋活動の変化を2ch表面筋電図計とバランスWiiボードにて計測及び比較検討した。

2題目は本年7月に開催が予定されている愛

知県柔道整復学会での発表論文『手関節固定装具に用いる固定材料と作製方法の紹介』と題した動画を視聴。自作採型具とホームセンターなどで手軽に購入できる材料・工具を工夫することで、安価で作り置きも可能な手関節固定装具の作製方法とテクニック、その理論を紹介した。

3題目は熱田支部学術部有志らで結成した“eほねつぎ会”でWeb上でも一般公開している上記の手関節固定装具作製手順の紹介とその実演を、青山クリニック勤務柔整師の岩脇先生が行った。なお、研修会終了後に参加者にご回答いただいたアンケートでは、おおよそ良い評価をいただいた結果となった。

現在、会議や仲間内のコミュニケーションの方法としてインターネット回線を用いたWeb会議は広く普及したが、事前に申し合わせをしていない一般参加者を迎え入れての対話形式、且つ複数のスタジオからの中継による議事の進行は我々にとって初めての試みで不安な面も多かったが、事前のディスカッションとチームワークのお陰で大きなトラブルもなく、スムーズに閉会できたことは大きな収穫であった。今後も各自の反省点、参加者から頂戴したアンケート結果やご意見を参考に、より精度の高いプレゼンテーションを行えるよう努めていきたいと思う。

一宮

交通事故と裁判費用

浅野 壽康

去年の7月、ある日曜日のお昼時、昼食用にテイクアウト注文した商品を受け取りに軽自動車で出かけました。信号の無い交差点にさしかかり、対向車が右折ウインカーをつけ停止していたのを見届け交差点に進入しました。その時、左側から停止していた車が進入して来て助手席にぶつかってきました。警察に連絡し、現場で事情聴取を受け保険会社に連絡をしました。相手側に一時停止義務があり、相手の過失が85％私の過失が15％で保険会社が仲介して示談ができました。

前回事故を起こしたときは裁判までしました、経験された方はあまりいないと思いますのでこの機会に思い出してみました。

阪神大震災の1週間後の日曜日、義兄一家と車2台で浜松まで苺狩りに出かけました。苺狩りを楽しんだ後、帰宅の途中浜名湖西側の道路を三ヶ日インターに向かって上り坂の右カーブに入っていった時、対向車がセンターラインをはみ出して正面衝突を起こしました。私は何気なく相手の車のナンバーを控えました。その後、交通整理をしていたら地元の方が救急車、警察に連絡をしてくださったみたいで到着しました。相手が救急車で病院に向かい、私は現場で警察官に事情聴取を受けました。警察官が言うには、「相手は老人だからスピードはでていない」と私が悪いような言い方をしたので、それは偏見だと文句を言うと今度は「センターラインを越してぶつかるまで2秒あるから避けられるだろう」と言われ絶句しました。

病院へ行き地元の署に寄るように言われ免許証を提示ました。夕方、地元の署で再度事情聴取を受けました。年齢、職業を言うと警察官の態度がコロッと変わり私に好意的になりました。その後帰宅し保険の担当者に連絡を取りました。

2、3日後に保険会社から相手が裁判を起こすと連絡がありました。しばらくののち、地元警察から再度事情聴取をしたいから来てくれと言われ、平日を休みにして出かけました。警察官の話では裁判になりそうなのでそれ相応の書類を作る為だと言われました。また裁判になったら警察が証言してくれるとも言われました。

当時の保険会社は過失を認めないと動いてくれなくて、私も相手も過失を認めないので硬直状態になりました。半年ぐらいして、このままではダメだと思い保険会社と相談して私から裁判を起こすことにして弁護士を紹介していただきました。弁護士事務所に行き相

談し400万円前後の損害賠償を請求する裁判を起こすことになりました。

まず、着手金として2～30万円必要とのこと（この着手金は裁判に勝訴すると相手に請求できます）で支払い、裁判が始まりました。裁判の日時が決まり私が訴えたので一宮の裁判所で行われました。私の主張が通り、私の過失は0%が認められました。賠償金額は8割か9割ぐらいでした。弁護士から成功報酬料として7～80万請求されました。やはり裁判費用は高いなと思いました。結局、解決するのに3年かかりました。交通事故にはくれぐれも注意してください。

半田

「大石 康先生快走」五輪聖火ランナー

竹内　康

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、1年延期された東京2020オリンピックの聖火リレーが令和3年3月25日（木）、福島県のナショナルトレーニングセンターJヴィレッジをグランドスタートした。

都道府県やスポンサーが選定した市民や著名人ら約1万人がランナーとして参加し、7月の大会まで全国を巡る。

大会組織委員会は新型コロナウイルス感染症対策のため、居住する都道府県以外での応援を控える他、沿道での密集を避けるため感染対策に神経をとがらせた。またインターネットのライブ中継での視聴も推奨した。

4月6日（火）午後5時過ぎ、「健康都市おおぶ　夢ふくらむ大府の未来」の看板が掲げられた大府ロータリー特設会場において、ミニセレブレーションが行われ、大府市出身で1992年バルセロナオリンピック柔道男子78kg級金メダリストの吉田 秀彦氏がゲストで紹介され拍手が沸き起こった。

午後5時40分、聖火ランナーとして我が公益社団法人愛知県柔道整復師会・半田支部の大石 康会員が聖火を掲げてスタート。少々緊張気味か笑顔は少なかったが、詰めかけた大勢の観衆や五輪を夢見る少年柔道の教え子たちに笑顔で手を振り、見事に走りぬき大役を果たした。当初、柔道には自信が、ランニングには息切れが心配されたが、思ったより軽やかな足取りに沿道から拍手がわいた。無事走り終えた大石先生のコメント「二年越しにほっとした」と。

大石先生はオリンピック選手として、吉田 秀彦・谷本 歩実・中井 貴裕・近藤 亜美各選手を輩出させた指導者としてあまりにも有名だ。バルセロナ・アトランタ・シドニー・アテネ・北京・ロンドン・リオと7大会連続でオリンピック柔道の応援に開催地まで駆け付けている。先生は「東京五輪から東京五輪までが私の目標だ」と言ってみえた。1964年東京オリンピックで、恩師の神永 昭夫先生とオランダ代表ヘーシンクとの対戦により、少年柔道指導者の原点となった東京オリンピック。そして2021年には聖火ランナーとして繋げてしまった。この間、長きわたりオリンピックに関わった会員は、我が業界の中で大石先生以外いない。

大石先生は昭和50年の道場開設以来、45年の長きにわたり少年少女の柔道指導にあたり、少年少女柔道大会に於いて、全国の冠の付く大会をすべて制した。「己を尽くす」「礼に始まり礼に終わる」「基礎のないところに大成は有り得ない」「教えることは教わること」…気力と体力を身につけ、柔道を長く続

けていくことによって人間形成と競技スポーツとしての勝利を目指すと、両面を伸ばしていくことが一番大事だと。

大石先生は本会の柔道顧問として、また愛知県柔道連盟の役職も歴任され、平成16年大府市スポーツ功労賞、平成21年第3回中日スポーツ功労賞、平成25年文部科学大臣生涯スポーツ功労賞、平成27年全日本柔道連盟感謝状、平成28年大府市スポーツ栄誉賞。平成29年には、長年にわたり柔道を通じて青少年少女の健全育成をすることにより、地域社会に貢献した会員に送られる日整最高栄誉である帰一精錬賞も受賞されている。

大石先生、大役ご苦労さまでした。

童心に帰って漕いでいます

支部総務担当
木之本 達明

今、知多市新舞子でサップをしています。聞きなれない言葉かもしれませんが、きっとテレビで見たことのあるスポーツです。SUPと書いてサップと呼んでいます。Sはスタンド、Uはアップ、Pはパドル。スタンドアップパドルというスポーツです。大きめのサーフィンボードに立って一本のパドルで海、川、湖を漕ぐスポーツです。

私は子供のころから池や湖でボートを漕ぐのが大好きでした。まさかこの年になって海でサーフィンボードを漕ぐとは。

きっかけは子供のころから祭りを一緒にしている同級生がやり始め、時々会うと画像を見せてくれていました。彼はSUPレースをしていて、どうやったら速くなるか？トレーニングをどうしたらいいか？を一緒考えていました。

サーフィンショップで「一度スクールがあるからどう？」と誘ってくれていて、おもしろそうなのでいつかはと思っていましたが、一年半前ぐらいに急に一度やってみるかと申し込みをしました。スクールのボードはとても乗りやすく、「こんなに簡単にボードの上に立てれるんだ」という感じでした。

潮風が気持ちいいし、海の上でトレーニングができるのでしばらく続けてみようとレンタル会員で自分のボードを持たずに通っていましたが、やはりそのうちに会費を払っているよりは買ったほうがいいかなと自然な成り行きでボードとパドルを購入。やり始めるとなかなか奥が深い！指導を受けながら奮闘の日々を送っています。

現在はレースを目指して頑張るのと、4月にはワカメ取り、干潮の時はハマグリ採りや潮干狩り、6月にはボードを利用してタコ釣りができるとのこと。もう仕掛けを用意しています。

コロナ禍にはとてもいいスポーツだと思います。おかげで真っ黒になっちゃいました。

刈谷

ハチの巣駆除

支部広報担当
岡田 忠士

去年のお盆、アシナガバチの巣を駆除しましたので、その経験談を書きます。去年はアシナガバチを家の周りで1匹ずつ見かけていました。ある日、患者さんが戸の外にいるのに入ってこないので、中から開けると「先生、ハチが留まっている」と言われ追い払ったことがありました、さらには自動販売機のゴミ箱の蓋の裏に小さい巣ができていて、自動販売機に飲み物を補充に来ていた人に呼ばれて対処したことも有りましたので「今年はよく見るなぁ」と思っていました。

この日は車で出かけようと運転席のドアを開けようとした時、目の前を1匹のアシナガバチが飛んで行きました。そのハチの行先を追っていくと、自分が立っている所から1メートルほどのところにとまりました。よく見ると何匹かハチが居て、巣があることに気が付きました。毎日のように車に乗っているのに、“まさかこんな手を伸ばせば触れる距離にハチの巣があるなんて”と驚き、帰りにハチ用の殺虫剤を買ってくることにして出かけました。

ハチ用の殺虫剤は複数の種類あり、殺虫成分を勢いよく噴出するスプレータイプの物が各メーカー特徴ある商品を販売していることは知っていましたので、そのうちの1つを購入しました。そのほかに「ゴキブリホイホイ」ならぬ「ハチホイホイ」なる商品が有り、これはプラスティック製の透明な容器に付属の薬剤を入れて、巣の近くに吊るしておくと容器に入ったハチが駆除できるという商品ですがこの時は購入しませんでした。

帰宅後、日が暮れるのを待って駆除を開始、長袖長ズボンに頭にタオルを巻いて武装、風向きを見てから巣めがけてスプレーを噴射し、向かってくるハチには直接あたるように噴射して駆除しました。逃げたハチもいましたが、この日はこれでやめました。

翌朝“こぶし大”のハチの巣を落として、湯につけて幼虫とさなぎ（1匹すでに羽化して穴から出る寸前）を駆除し一段落付いたと思って車を洗っていると、逃げたハチが戻って来ていましたので、殺虫剤で駆除しました。洗車後、念のためハチホイホイを購入し近くの木の枝に吊るしておきましたが、10日ほどしてもハチは入りませんでしたので、今回のハチの巣駆除はこれで終了、幸いハチによる被害は出ずに済みました。

今までの経験から、「殺虫剤で駆除できる」（ハチ用殺虫剤は強力で、飛んでくるハチにかけると落ちます）と駆除に挑みましたが、先にハチホイホイを使ってハチを減らし、巣に残ったハチを殺虫剤で駆除したほうがより安全だったのではと思いました。

調べてみるとアシナガバチは、6月から8月に巣を作り、中でも7月8月は働きバチが攻撃的になる時期だそうです。駆除は9月以降が適しているそうなので、今回は危険な時期に駆除に挑んでしまったようです。アシナガバチは身近にいる毒を持った昆虫ですので、皆様も駆除を経験したこともあると思います。

この80刊が発刊される頃がシーズン真只中、私の経験が参考になれば幸いです。駆除業者もあるようですので、業者に依頼するのも良いと思います。※駆除の際は細心の注意を払って行ってください。

岡崎

令和２年度岡崎支部豊岡会総会 オンライン情報交換会

支部広報担当
菅沼 秀生

令和3年2月28日（日）に、岡崎グランドホテルで岡崎支部並びに親睦団体「豊岡会」の令和２年度総会が開催された。コロナ禍ではあったが、会場を例年の倍の広さをとり、会員間も距離を開ける等、感染予防対策を支部役員とホテル側が協力し徹底して行われた。新入会員の紹介、会計監査、支部長選挙、役員の任命等議事も円滑に行われた。

通常ならば、総会の終了後に地域の公人を招いて情報交換会を行っていたが、今年度は会員の参加希望者と森川会長、小村事務長でZoomを用いたオンライン情報交換会を開催した。

数カ月前より、石川 英一郎支部長を中心にZoom環境を準備した。参加者の中には、初めてＺoomを扱う会員が多く、ITに精通する石黒 貴彦会員に指南役をお願いした。石黒会員には開催日までに、アプリの導入方法の説明及び2回のZoom開通テストを設け、綿密に連絡をとり準備していただいた。お陰で開催当日は全参加会員が不安なく、また滞りがなく無事に開催された。

森川会長のお話から始まり、支部で用意した弁当を食べながら会員の意見交換が行われた。1時間の情報交換会終了後も希望者のみで懇話会が設けられ、和やかに会員間のコミュニケーションが図られた。

今回は愛整会のZoomシステムをお借りして開催されたが、今後もオンラインでの支部役員会、支部学術研修会や各部会議のオンライン化が必要であると判断し、岡崎支部は単独でZoomを契約した。今後はコロナ禍、コロナ終息後もオンラインを活用し支部の活動、愛整会との連携を円滑に行っていく所存である。

豊橋

豊橋市体操教室業務に参入

金城 光伸

夏本番を迎え、皆様におかれましては、暑さに負けずご活躍のことと拝察いたします。柔道整復師としては今回初めて豊橋市の体操教室業務に参入することができましたので、教室を開催した事をお話させていただきます。

豊橋市の体操教室は、市の広報などで参加者を15人ほど募り、各校区の市民館に週1回、計10回来てもらい、そこに講師が出向き体操を指導するというスタイルで行われます。ちなみに参加料は無料です。

市からの依頼内容としては、「参加者に介護保険の世話にならぬよう運動習慣を身につけてもらうための体操を指導する事」と、「覚えた体操を継続するように、参加者同士仲良くなってもらい自主的に体操や運動をするグループの発足を促す事」です。講師として参加する、中島 正勝会員、西村 正道会員、齋藤 禎久会員、宮阪 智也会員、永井 裕之会員と私の6人全員一同に会うのも、メニューを考案するのも、コロナ禍では大変でした。

体操の内容をある程度統一するため、メニューはパワーポイントで作成し市民館のスクリーンに投影するプレゼン方式を採用しました。参加者に4種類の運動（筋力向上トレーニング、持久力向上トレーニング、バランス向上トレーニング、ストレッチ）を組み合せて行うことで老年症候群に陥りにくい身体作りを解説しながら、更にスクリーンで意識する筋肉を明示しながら体操教室を行いました。

メニューで評判が良かったのは故源田 実会員が考案したタオルを使った体操でした。

10月から3月まで6会場で行われた体操教室は、参加者のケガもなく、市が後に行ったアンケートでは概ね満足だったとの評価をいただきました。

約2時間の体操教室をするにあたって、参加者に伝えるために改めて勉強した様々な知識が自分の接骨院でも役に立つことや、来院される患者様や近所の住人の方に接骨院の先生が介護予防のための体操教室をしていると知ってもらったことが、自分としては良い宣伝にもなったかなと思います。体操教室を通して自治体からの接骨院のイメージが良い方向に繋がってくれたら言うことはありません。

地域の健康増進、介護予防に少しでも役に立つように、今年も豊橋市の体操教室業務の入札に会員一同で臨みたいと思います。

共済会だより

会長
藤川 和秀

会員の皆様には、共済会運営に関しまして多大なるご協力をいただき感謝申し上げます。

共済会の基本事業であります、弔慰金のお支払いに関しましては発足以来、滞ることなく残されたご遺族様にお渡しをいたしております。

会員の皆様より毎月定額掛け金3,000円を徴収させていただき日本生命と契約をしているところです。この内容での死亡保険金額は他の多くの保険会社の内容より厚遇されているものと自負しております。

また、共済会規定にもあります、会員への福利厚生に関しましては、一昨年より発生している新型コロナウィルスによる日本国中への感染拡大に伴う国よりの「緊急事態宣言」の発令によって私たちの日常業務に多大な影響を与えることとなり、大幅な収入の減収になってしまいました。そうした中、（公社）愛知県柔道整復師会との協力で、定額給付金の支給、定額会費の一部助成、会員の皆様へ配布するマスクの購入費の補助等をさせていただきました。このように、共済会は会員の死亡時弔慰金の支給、入院された際の見舞金、災害時見舞金等福利厚生を充実しております。

今後とも、共済会運営に関しまして、ご指導、ご協力をお願いいたすとともに、ご意見がありましたならば共済会までお知らせください。

介護ステーションだより

管理者
平岩 治郎

日ごろは愛柔整介護ステーションに対し、ご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

要支援・要介護認定の結果に応じて、介護保険給付額や使えるサービスの種類が決まります。自立を含めて要支援・要介護度の認定区分は8段階に分けられます。段階ごとの認定基準がありますが、その中でよくご質問されるのが「要支援2」と「要介護1」の分かれ目です。使えるサービスや支給限度基準額に大きな違いが出てきます。

基準は、大きく2つあります。

1）認知症の有無
運動機能だけでなく思考力や理解力の点でも低下がみられるかどうか、いわゆる認知症の疑いが高いと判断された場合、要介護1と判定されます。

2）状態の安定性
主治医の意見書などの調査より、半年以内に状態が大きく変わる可能性があると判断された場合、要介護1と判定されます。

このどちらか1つでも当てはまると判断された場合は「要介護1」と判定される可能性が高くなります。

介護は突然はじまります。どなたも介護に関して最初は初心者です。何からはじめていいのか、どこに相談すればいいのかわからないという方は、少なからずおみえになられると思います。そんな時は是非とも『愛柔整介護ステーション』にご相談ください。できる限り住み慣れたご自宅で自立した日常生活がおくれますよう、ご利用者さまの心身の状態

に応じた、またご家族さまのご希望に沿った「居宅サービス計画」を作成いたします。
　今後も先生方からのご紹介を頂戴しお役に立たせていただきたいと思っております。
　何卒ご協力の程、お願いいたします。

協同組合

理事長
早川 岩雄

　このたび、再度愛知県柔道整復師協同組合の理事長を仰せつかりました愛整会総務の早川 岩雄ございます。
　本来２年前に長谷川 貴一副会長が就任することになっていた愛知県柔道整復師協同組合理事長でしたが、長谷川副会長が急逝されたため私が引き継ぐことになり、はや２年が経ちました。
　コロナウイルスが猛威をふるっている中、25期決算はマイナス決算になるのではないかと心配しておりましたが、協同組合の理事たちの努力と組合員の皆様のご協力により、なんとかプラス決算になりました。
　ただ、ここ数年いつも問題になっている立替金の多さに苦慮しております。立替金とは、毎月組合員の先生方が使われた衛生材料費、生命保険料、損害賠償保険料などを、療養費払いで引き落とさせていただいておりますが、その折、引き落とせなかった金額を不足金として組合員に通知し、振込か会館まで持ってきてもらっているのですが、それでも集金が出来なかった金額のことです。
　25期の立替金が180数万円、利益が110数万円となり、70万円強の金額が協同組合の預金より流出しております。今後このような状態が続けば、協同組合の運営が立ち行かなくなり、組合員の皆様にご迷惑をおかけすることになるのではないかと心配しております。
　コロナ禍、私もそうですが、接骨院の経営が困難になっているとは思いますが、是非協同組合の運営状況をご理解していただき、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

編集後記

愛整広報第80刊の発刊にあたり、会員の皆様にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。今回の発刊は、広報部長を拝命させていただいてからの初めて大仕事でもあり、右も左も分からない私を導いていただいた古賀監事（前広報部長）、岡田部員、室谷部員のお力添えにより無事発刊することが出来ました。また、各支部広報担当者や投稿をいただいた会員の力作ばかりでございます。

ぜひ、最後のページまでお目通しいただければ嬉しいかぎりです。

次号81刊より本格的に編集に入りますので、発刊まで楽しみにしていて下さい。

松田 吉弘

新型コロナウイルス感染症により今年に入ってからも、非常事態宣言が発令されるなどの影響で行事が中止や延期となり、頁数が少なくなっていますが、そんな中なんとか刊行することができましたこと御礼申し上げます。

皆様の手元に届くころには、1年延期となっていた、東京オリンピックも開催され、テレビの前で手に汗握って応援し、盛り上がりを見せている事でしょう。暗い話題が続いているので、明るい話題で世の中を活気づけてもらいたいと思います。

次号第81刊通刊121号は、疫病が終息して元のような行事の記事や写真が載ったものとなることを祈ります。

岡田 忠士

依然収束しないコロナ禍の中、愛整広報第80刊が発刊できましたことは愛整会会員の皆様のおかげと感謝の念でいっぱいです。

いよいよ1年越しの東京オリンピックが開催となり、ワクチン接種も徐々に進行してはいますが、まだまだ毎日の感染者は減っていません。オリンピックのみならず、本会の行事も無観客試合であったり、Zoomによるリモートであったり、ワクチンを打ったからと言って余談は許さないところでもあり、日頃のマスク着用、消毒、三密を避けるなど継続しますが、徐々に収束に向かうことを願うばかりです。

広報部も松田 吉弘新部長を迎え、新体制として頑張ってまいります。よろしくお願いいたします。

室谷　勉

第81刊の原稿募集

1. 内　容　論説、時評、文化、学術、短歌、俳句、ふれあい、支部だより等
   また、記事に関連する写真がありましたら添付してください。
   支部名・お名前を必ずお書きください。
   ご本人の顔写真は必ず添付してください。
2. 締切日　2021年11月20日(土)
3. 送り先　〒460-0022 名古屋市中区金山5丁目13番22号
   公益社団法人 愛知県柔道整復師会 広報部
   愛整広報メールアドレス： kouhou@shadan-aisei.jp

投稿についてのお願い

1. 寄稿文の採否、および多少の字句の訂正は広報部におまかせください。
2. 引用文献は、必ず著者名、著書名、巻、頁、発行所を明らかにしてください。
3. 原稿は横書きに統一します。
4. 文章の題名、支部名、氏名は、4行使い、本文は5行目から書き始めてください。
5. 句点「。」読点「、」かっこ「（［ は、必ず全角文字を使ってください。
6. 書き始め、段落の始めは1字あけて書いてください。
7. 原稿は読み返して、推敲してください。
8. 医学用語は正しく書いてください。
9. **原稿・写真は、支部担当者へ提出してください。支部担当者が、必ず校正して提出してください。**
   原則提出していただいた原稿・写真は返却しませんのでコピーを提出してください。
10. 原稿(データ)は、原則として、Windows版Microsoft WORDまたはEXCELで作成してください。原稿執筆者の顔写真を必ず提出してください。
11. 1枚の画像の容量は300KB程度とします。
    文書内に貼付けた画像は、元の画像ファイルも添付してください。
    ただし、表紙に使用する写真は2MB以上で、できるだけプリントしたもの(2L版以上)を添えて提出してください。
12. 投稿した原稿・写真等は、締切日より1ヵ月程度はご自身でも保管しておいてください。

発行日	令和3年7月31日
発行者	森川 伸治
編集者	松田 吉弘・岡田 忠士・室谷 勉
印刷所	名古屋市東区古出来1－1－3　有限会社進栄社 TEL 052－722－1515・FAX 052－722－1517